

2019 年度 事業活動

NPO 法人 CaPSAY

2019 年度の事業活動



(1) 20190516 デリバリーキャリア講座

特定非営利活動の種類	職業能力の開発又は雇用機会の拡充を支援する活動・社会教育の推進を図る活動
特定非営利活動の事業	キャリア形成支援プログラム、いわゆるキャリア教育の事業
実施主体 日時 場所 参加者 活動の内容	立命館大学経済学部、社会政策（担当：高野剛准教授）での CaPSAY の授業 2019年5月16日（木） 第2講時 立命館大学（BKC）C301 教室 講師：五十川。高野准教授。学生約 450 名 高野剛准教授の担当授業で科目は「社会政策」。ゲスト講義のテーマは「自分らしく生き、自分らしく働くために－「若者・学生支援の現場」から見た社会政策とブラック企業、「経済学」や労働法規の視点から スピーチのコンテンツは1.ブラック企業って何だ？⇒いまどき『古いネタ』？ 2.これがブラック企業だ⇒実例紹介 3.なぜブラック企業と社会政策？⇒AI やロボットはブラック企業から若者や労働者を解放してくれるのか？ 4. CaPSAY での最近の『盛り上がり話題』と『盛り下り話題』ご紹介 5.自分らしく生き、自分らしく働くことに自信と、誇りを！！ 6. 質疑応答・まとめ⇒なんでも議自由に（以上 60 分）。 学生は 3・4 回生で就活が終了あるいは間もなく就活という転機にあり、ブラック企業の説明と社会的背景と、一方で自己肯定感を高く持ち、自分らしく働くこととそんな会社の探し方や、背景の社会諸状況等について講義した。全体に学生は自分自身の問題としても切実で、真剣に考えて受講していた。労働基準監督官のスペシャルトークにも関心は高かった。
備考	アンケート結果では、Q1 の、講義の感想として①役に立った。興味を持った。②ある程度役に立ち、興味を持った。が併せて 88%で、Q2 の関心をもったコンテンツでは、②これがブラック企業だ⇒実例、⑤自分らしく生き、自分らしく働くことに自信と、誇りを！！が併せて 82%であった。講義の理解度・満足度は比較的高いアンケート結果であったと考えられる。 自由記述の記入も 50%以上あった。
事業活動の収支	経費実費
事業の成果・課題	学生らが、『自己分析』ではなく『自己理解』の視点を持ち『自虐的な』『自己分析』に陥らず、自己肯定感を高められるように、若者たちと接し、応援していきたい。レクチャーとしてはその点の社会政策的、あるいは経済学等社会・人文諸科学等の学術的な解明に、若者達が少しでも興味・関心を持ってくれれば、大変うれしい思いがする。

(2) 20191026 京滋の社長と若者・学生が本音で語る就活膝づめカフェ

<p>特定非営利活動の種類</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・経済活動の活性化を図る活動 ・職業能力の開発又は雇用機会の拡充を支援する活動
<p>特定非営利活動の事業</p>	<p>若者のキャリア形成支援に関わる講演、シンポジウム、パネルディスカッション、出版等の教育・啓発の事業</p>
<p>企画名</p> <p>日時</p> <p>場所</p> <p>企画の内容</p>	<p>京滋の社長と若者・学生が本音で語る就活膝づめカフェ</p> <p>2019年10月26日(土) 14:00~17:00</p> <p>ひとまち交流館京都第1会議室</p> <p>今年もまた『売り手市場』などと言われていて、学生の内定率も『非常に順調』とのことです。しかし、新卒就職の3年以内の離職率は、大卒30%以上、高卒50%以上と、相変わらず高く、それも益々増えている傾向です。</p> <p>若者支援の団体や、キャリアコンサルタントには現役学生よりも既卒(第2新卒)の若者が多く相談に来ますが、その内容は『自分がどんな仕事をしたらいいのか分からない』『ブラック企業ではないだろうか。だけれども、辞めさせてくれない』『転職をしたいがどうすれば良いだろうか』等の相談。自信を持てば能力を大いに発揮すると思いますが…。現役の学生も不安の根源は同じようです。</p> <p>企業の社長さんと話していますと、『中小企業には人材がなかなか集まらない』『せっかく採用してもすぐに転職する』『会社の理念が若手に理解されない』等々悩みは尽きないようです。【社員が元気で活気のある会社は、明るく光っている】【社員が暗い会社は、どんよりとして沈んでいる】というのは、昔から引き継がれているたとえ話です。</p> <p>この企画は、社長さんと若者・学生が『自分らしく生き、自分らしく働く』ことを共通の理解にするために、カフェ方式で本音で語り合うという企画です。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
<p>事業活動の収支</p>	
<p>事業の成果・課題</p>	<p>若者・学生の参加がドタキャンなどで少なく、アンケートの結果、企業家からは今後の要望が出された。キャリアコンサルタントとの意見・情報交換で中小企業家の採用に対するニーズは高く、「売り手市場」と言われる中で採用難の状態で、いかにして若者・学生に中小企業の本当の情報を知ってもらおうかが、大きな課題となっている。学生・若者と向き合う現場にいる職員と同じ問題意識を持っており、共通理解としていくために今後も継続したいとの意見が多かった。</p> <p style="text-align: right;">(以上)</p>

(3) 20191105 留学生のキャリア形成支援

特定非営利活動の種類	国際協力の活動、職業能力の開発又は雇用機会の拡充を支援する活動
特定非営利活動の事業	大学のための外国人留学生支援勉強会
実施主体 日時 場所 参加者 講師	<p>■立命館大学経営研究科の自主企画、NPO法人 CaPSAY(協賛)</p> <p>■2019年11月5日(火) 19:30~21:00</p> <p>■場所:立命館大学 経営研究科教室</p> <p>■参加者:(株)ジェニック 董事長 山本佳則 製造部 製造部部长 東 邦秋</p> <p>■参加者:立命館大学経営研究科 M1 外国人留学生 3名(スウシンシ、謝カサン、謝イシュエン)</p> <p>■参加者:CaPSAY:蒲、樋口</p> <p>■講師&質疑応答 山本佳則董事長</p> <p>・シンガポールから帰国日程に合わせてワークショップを実施</p>
活動の内容	<p>1) <u>会社の概要説明&経営戦略(30分)</u></p> <p>■アジアで生き抜くための戦略について話していただいた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アジアの4拠点を活用し、IT関連商品を「少ロット多品種」で供給 ・生産工場は大半協力工場で対応 ・スピーディでタイムリーな対応こそ命 <p>2) <u>質疑応答(主な内容)</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・山本董事長の生き方について ・16年間の事業で3回倒産の危機にあつて、乗り切ったこと ・自分の思いをやり続けてきたから困難を乗り越えた話等 <p>■10年後の(株)ジェニックは?</p> <ul style="list-style-type: none"> ・made in Asiaを目指して
学生の評価	<p>3) <u>どんなことが参考になったか?</u></p> <p>①スウシンシ:海外への進出は今の時代において重要</p> <p>②謝カサン:業界に対する理解、そして色々な人に関する経験を教えてもらい、これからの人生の参考になった</p> <p>③謝イシュエイ:自分が好きなことをやること、人がやっていないことを先にすることの大切さ</p>
企業の評価	<p>4) <u>少人数でも学生と直接話ができる機会はないのでありがたい。</u></p> <p>・一昨年立命館大経営研究科のOG1名と、昨年京都府国際センターの企業交流会で大阪市立大学の留学生(女性)入社をお世話した関係で2年連続で参加</p>
事業活動の収支	
事業の成果・課題	<p>1) M2の張さん(昨年のリーダー)に働きかけ、毎年している企業交流会を後輩にやりたいか確認してもらったところに、日本での就職を希望しかつ、ワークショップをしたい留学生が3名現れ、今回のワークショップにつながる。</p> <p>2) 今後、立命館大の留学生ネットワークを作るためにも続けていく必要性を感じる</p>
	 

(4) 20191119 留学生のキャリア形成支援

特定非営利活動の種類	国際協力の活動、職業能力の開発又は雇用機会の拡充を支援する活動
特定非営利活動の事業	大学のための外国人留学生支援勉強会
実施主体	立命館大学経営研究科の自主企画、NPO 法人 CapSAY (協賛)
日時	2019年11月19日(火) 19:30~21:00
場所	立命館大学 経営研究科教室・京セラコミュニケーションシステム(株) 京都人財
参加者	開発課 新田 郁奈氏 ・立命館大学経営研究科 M1 外国人留学生 4名
講師	・CaPSAY: 蒲、樋口、五十川
活動の内容	スケジュール 1) 講師 新田 郁奈氏&キュウさん (立命館大学経営研究科 OG) 2) 会社の説明 ・会社の経営理念: 「京セラヒロソフイ: 人として何が正しいか」 「アメーバ経営: 全員参加の経営」の徹底 ・アメーバ経営3つの目的: ① marketing に託した部門別採算制度の確立 ② 経営者意識を持つ人材の育成 ③ 全員参加の経営の実現 ・アメーバ経営とは: ① 「現場の知恵を引き出し、社員のやる気を喚起させる人の心をベースにした経営システム」 ② 経営コンサルティングとは、一言でいうと「良い会社」を創る仕事 3) キュウさんとの質疑応答 (OGとしての応対) ・ITの時代。文系出身でも仕事をチームで共用 ・SEの仕事が3ヶ月間研修(基礎部分の勉強): ITの基礎の勉強を身に着けたことで視野が広がった ・採用は人物本位・人間性を重視 ・FA制度/部署で公募: やりたい仕事があれば、アピールすれば可能になる制度
先輩へのアドバイス	1) 強い意志を持って取り組むことが大事 2) どんなことをやりたいか、どんな人になりたいかを明確に 3) 自分の足を運んで会社を知ること、自分の好きなことを見つけるとミスマッチしない 4) 会社の人と接して自分に合った会社をしっかりと見極めること
学生の評価	■自分たちの先輩から直接話が聞けるのが、一番説得力があり納得できたみたい
企業の評価	■少人数でも直接学生と話ができることが、一番効果的で今後も参加したい
事業活動の収支	
事業の成果・課題	3) これからの時代、企業と学生が直接話ができる機会を作り、そこで得た生な情報をワークショップで共有することが大事になると考えている。 4) 手間はかかるが継続的に取り組むことが必要と感じる

(5) 20200111「発達障害を抱える若者へのキャリア支援」講演会

「発達障害を抱える若者へのキャリア支援」の講演会を、ジャーナリストで若者に寄り添って活動をされておられる、品川裕香さんをお招きし、2020年1月11日（土）に実施しました。大学・ハローワーク・民間で若者支援を行っているキャリア・コンサルタント、企業経営者・人事担当者、大学・教育関係の進路指導の先生方、若者・学生、父母や市民の皆様が76名様様の御参加を頂きました。御参加頂いた皆様方からは「大変勉強になった」「専門的なお話で経験では対応できなかったことが理解できてきた」「是非、勉強を続けていきたいので、今後も継続してほしい」等のご意見・ご感想をいただきました。

参加者のご感想を一部紹介いたします。今後、可能であれば順次参加者の御感想を紹介します。今後の勉強会につきましても、実施したいと考えています。

(NPOのキャリア・コンサルタントの感想)

「大変勉強になりました。脳の認知機能からの発達障害アプローチは、情報としては聞いていましたが、詳しく話が聞けて良かったです。「自分の興味・関心、好きな仕事をするのが一番いいのではないか」などと言っていたのですが、それでは本人の自己肯定感（効力感とってはりましたが）を伸ばすことにはならないと教えていただき、今後修行を重ねたいと思いました。」

